

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 1月 7日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	燃料プール冷却材浄化系ろ過脱塩器入口導電率計(P33-CE019)において、当該導電率計取付部から水の滴下(25秒に1滴程度)が認められたため、当該導電率計の取付部を点検・修理。	GⅢ	1月1日
2	3号機	燃料プール冷却材浄化系保持ポンプ(B)入口弁(G41-F091B)において、弁軸封部からの滴下(5分に1滴程度)が認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、滴下した水から汚染は検出されず。	GⅢ	1月2日
3	3・4号廃棄物 処理設備	焼却設備空気混合部冷却空気流量発信器(G81-FT029)において、焼却設備が停止しているにも係らず約2140Nm ³ /hを指示していることが認められたため、当該空気流量発信器を点検・修理。	GⅢ	12月28日
4	その他	排気筒上部に設置している風向・風速の計測装置(ドップラーソーダ)において、監視装置による風向・風速を確認できなくなっていることが認められたため、原因調査・対策検討。 なお、排気筒10m地点に設置している別の計測装置(ドップラーソーダ)にて風向・風速は確認できており、発電所運営に影響はない。	GⅢ	1月3日